

## 第 65 回 統計委員会 議事概要

1 日 時 平成 25 年 6 月 21 日（金）13：00 ～ 14：05

2 場 所 中央合同庁舎 4 号館 11 階 第 1 特別会議室

3 出席者

### 【委員】

樋口委員長、深尾委員長代理、縣委員、北村委員、西郷委員、白波瀬委員、竹原委員、  
椿委員、津谷委員、中村委員、廣松委員

### 【統計委員会運営規則第 3 条による出席者】

《国または地方公共団体の統計主管部課の長等》

内閣府経済社会総合研究所長、内閣府経済社会総合研究所総括政策研究官、総務省統計局長、総務省統計局統計調査部長、財務省大臣官房総合政策課調査統計官、文部科学省調査企画課課長補佐、厚生労働省大臣官房統計情報部統計企画調整室長、農林水産省大臣官房統計部長、経済産業省大臣官房調査統計審議官、国土交通省大臣官房審議官、日本銀行調査統計局参事役、東京都総務局統計部長

### 【事務局等】

前川内閣府総括審議官、村上内閣府大臣官房統計委員会担当室長、清水内閣府大臣官房統計委員会担当室参事官、平山総務省政策統括官（統計基準担当）、白岩総務省政策統括官付統計企画管理官

## 議 事

- (1) 統計法の施行状況について
- (2) 諮問第 50 号の答申「経済センサス基礎調査及び商業統計調査の変更について」
- (3) 諮問第 54 号「特定サービス産業実態調査の変更について」
- (4) 専門委員の指名等について
- (5) 部会の審議状況について
- (6) その他

5 議事概要

- (1) 統計法の施行状況について

樋口委員長から、統計法の施行状況については、基本計画部会で審議する旨説明が行われた。

- (2) 諮問第 50 号の答申「経済センサス基礎調査及び商業統計調査の変更について」

廣松サービス統計・企業統計部会長から、資料2に基づき、「経済センサス基礎資調査及び商業統計調査の変更」の部会審議状況及び答申案の内容の説明が行われ、原案のとおり採択された。また、答申に引き続き、廣松部会長から、答申審議に際しての意見が述べられた。

主な質疑は以下のとおり。

- 総売上高の把握については難しい面もあるが、ビジネスレジスターにとって重要な情報でもあり、今回の対応については評価できる。
- 経済センサスは産業界にとって重要な調査であるが、報告者負担の観点からも、今後議論が必要である。
- 総売上高の把握については、ビジネスレジスターの整備に役立つ一方で、回答率が低下するという意見もあるので、今後、総売上高の把握の時期の検討や回答率への影響についての事後的な確認が必要である。
- 基本計画部会ワーキンググループは、統計法の施行状況の審議が主たる任務であるが、次期の基本計画に向けた審議も行われるので、その中で関連した議論をしていただきたい。

#### (3) 諮問第54号「特定サービス産業実態調査の変更について」

山田経済統計担当統計審査官から、資料3に基づき、諮問内容の説明が行われ、その後、本諮問については、サービス統計・企業統計部会に付議されることとなった。

#### (4) 専門委員の指名等について

樋口委員長から、資料4に基づき、部会に属すべき専門委員の指名について報告された。

#### (5) 部会の審議状況について

- ① 西郷産業統計部会部会長から、資料5に基づき、「経済産業省生産動態統計調査の変更」の部会審議状況について報告された。
- ② 西郷産業統計部会部会長から、資料6に基づき、「農林業センサスの変更」の部会審議状況について報告された。
- ③ 深尾統計基準部会長から、資料7に基づき、「日本標準産業分類の改定」に関する部会審議状況について報告された。

#### (6) その他

- ① 樋口委員長から、基幹統計である「産業連関表」の作成方法について、参考3の内容で総務大臣に通知があった旨報告された。
- ② 経済産業省から、参考4に基づき、第37回統計委員会で報告があった「鉱工業指

数」の作成方法に関する通知の訂正について報告された。

- ③ 次回統計委員会は、来月7月26日（金）13時から中央合同庁舎第4号館で開催する予定。

以上

<文責 内閣府大臣官房統計委員会担当室 速報のため事後修正の可能性あり>